

いなべ市温水プールでの水泳の授業が始まった。9月は1・2・3年生。合計5回で1回あたり45分。プールまでは、市が準備してくれたバスでの送迎である。往復約40分、乗り物好きな子にとっては、ちょっとしたお出かけ。帰りのバスでは、爆睡する子もいたと聞く▼今年度からこの温水プールでの水泳授業には、6つの学校が参加している。プールの老朽化、熱中症対策、本校では、サルの糞・・・いくつかの課題を温水プールが解決してくれる。移動の時間を1コマ分取られてしまうことと、時間割が多少イレギュラーにはなるが、そこは先生方の知恵と工夫で解決済み▼1日目を終えた子どもたちの多くは、「たのしかった～」と学校へ帰ってきた▼久しぶりのプールに加えて、学習内容は昨年度よりかなり充実している。なにより指導いただくインストラクターの先生が、複数かつプロフェッショナル。コーヒー先生の出番はない。▼初日であるから、何かしらのトラブルや事象はあった。しかしそれは、解決すべき課題。「たのしい温水プールの授業」を妨げるものではない▼更衣室で着替える男の子たちを見ていて、あらためて思ったことがある。(この子どもたちがお風呂に入る時きっこうなんだろうな～)服を脱いだ時、お風呂から出て服を着る時の様子が目に浮かぶ。「今からここから」子どもの事実からどうするかを考える。教師も保護者も。